

令和2年度授業改善プラン

- (取り組み内容)
- ・毎学期の終わり、自分の担当(各学年ごとに項目だてて)の授業に関して作成する。
 - ・本年度の自己の研修課題に関連し、自己の授業を分析し課題を見いだす。
 - ・見いだされた課題に対し改善プランを立て、指導方法の工夫・改善を図る。
 - ・学期の終わりに検証を行い、来学期につなげていく。

教科名 (道 徳) 教科担任名

★教科・観点について

学力向上のための調査・期末テストび学期の学習状況、生徒の授業アンケートをもとに分析し記入する。〈○成果 ▲課題〉

	1学期			2学期			3学期
	学年	課題分析	具体的な改善策	学年	課題分析(授業改善・プランの1次評価)	2学期終了後の具体的な改善策	改善プランの評価・来年度にむけて
特別の教科 道徳	1年	○学年目標「自分を知ろう、相手を知ろう」を基に、学習することができた。 ▲道徳の学習時間が少なかった。また、コロナの影響もあり、グループワークを行うことが難しかった。	・授業時間の確保とともに、そのときの学年に沿ったテーマの学習を学年会で検討し、共有して取り組む。 ・話し合いの人数や時間、またホワイトボードの利用などでグループワークを進めていきたい。	1年			
	2年	○1学期の日数が少ない中で、授業時間を確保して進めることができた。 ▲同一内容を担任指導の下で進めていた。 ▲グループで意見交換ができなかった。	・2学年所属の教員9名がそれぞれ授業内容を考え、各クラスをローテーションで指導していく。 ・班の編成や話し合いの時間の短縮など工夫をして、お互いの意見を共有できるようにする。	2年			
	3年	○授業時数が少ないながらも、テーマとする内容項目を各自深く考え、意見交換ができた。 ▲コロナ対策のためにグループワークなどが不足した。	・授業時間を確保し、学年の実態に応じた内容項目を選定する。 ・ホワイトボードの活用、ワークシートの工夫などにより、グループ活動の不足を補うべく指導を展開する。	3年			
授業改善の検証方法	学年会などによる情報の共有。 学年共通のワークシートの利用など						
研修課題(キャリア教育に関連した教科としての取組)	研修課題に対する教科としての具体的な実践方法	1学期の成果と課題	1学期の結果を踏まえた具体的な実践方法及び追加内容	2学期までの成果と課題	1年間の成果と今後の課題		
学び合う力 自分を知る力 今を考える力	・ホワイトボードを利用したグループワーク ・ディベート学習	▲コロナの影響でグループワークができなかった。 班数分のホワイトボードがなかった。	道具がそろったので、継続して実践方法を行う。				
	・ワークシートに授業の感想や振り返りを記入する欄を確保している。	○授業の内容から、どんなことを考えたのかを振り返ることができていた。 ▲コロナの影響で、グループで意見交換する時間が確保できなかった。					
	長所や短所など自分自身についてよりよく知り、過去の経験に照らして教材のようなことが自分(またはまわり)に起こったときに、どのように自己を改善していけば良いのかを考えさせる機会を多く設定する。	○教材の中で起こったことがふだんの生活に近いものだったので、自分たちの生活と照らし合わせて考えさせることができた。 ▲授業時数が十分ではなかったため、さまざまな角度から考えさせるという点では十分ではなかった。					